

1章 正の数・負の数にチャレンジ ()組()番 名前()

■0より小さい数

- +3や+7.5のような**0より大きい数**を()という。
「+」(プラス)を()という。
- -2や-4.8のような**0より小さい数**を()という。
「-」(マイナス)を()という。

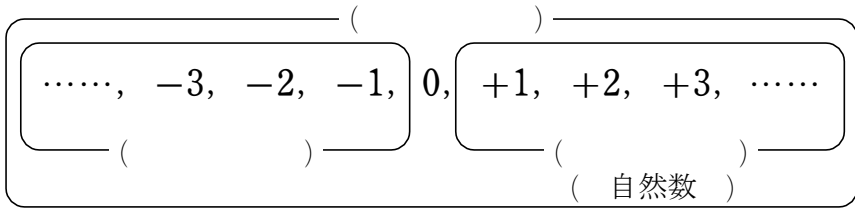
正の数の表し方

・ 0より3大きい数	—————→	<u> +3 </u>
・ 0より1.8大きい数	—————→	<u> </u>
・ 0より $\frac{4}{7}$ 大きい数	—————→	<u> </u>

負の数の表し方

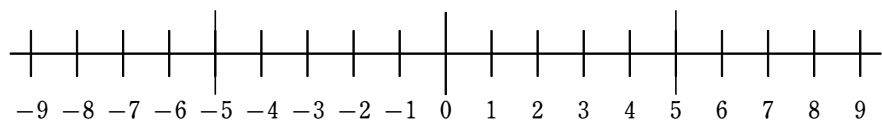
・ 0より5小さい数	—————→	<u> -5 </u>
・ 0より10.5小さい数	—————→	<u> </u>
・ 0より $\frac{1}{4}$ 小さい数	—————→	<u> </u>

○整数には、(正の整数), (0), (負の整数)がある。



※0は正の整数(自然数)でも負の整数でもない。

■数直線



数直線では、0より大きい数は0から()の方に
0より小さい数は0から()の方に表す。

■ 正の数・負の数で量を表すこと

例1 5000 円の収入を、+5000 円で表すとき、
4000 円の支出は、 円と表される。

例2 ある地点から2 km 東の地点を、+2 km で表すと、
ある地点から3.5 km 西の地点は、 km と表される。

例3 ある工場では、製品の1 日の生産目標を200 個と決めています。ある週の月曜日
から金曜日までの生産数は、下の表のようになりました。
この表の空欄をうめなさい。

曜日	月	火	水	木	金
生産数(個)	210	195	203	193	200
目標(200 個)との違い	+10				

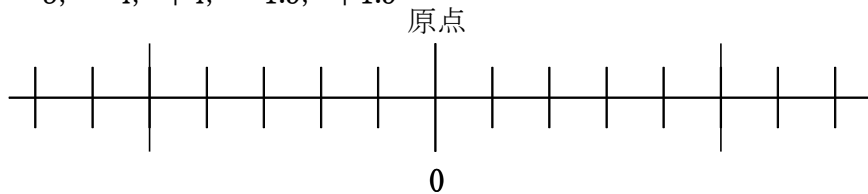
反対の性質を持つ量は、例えば、「多い」、「少ない」のように、2つのことばを使っ
て表しますが、負の数を使うと、その一方のことばだけで表すことができます。

5 個少ない …… 個

■ 絶対値と数の大小

◎ 次の数を、下の数直線上に表しましょう。

+3, -3, -4, +4, -1.5, +1.5



※ +3 に対して -3、-4 に対して +4 のように、+、- の符号を
とりかえた数をつくることを、() という。

※ () … 数直線上で、0 からある数までの距離
(原点)

数の大小

正の数は0 より大きく、負の数は0 より小さい。

・正の数は、その数の絶対値が大きいほど、()。

・負の数は、その数の絶対値が大きいほど、()。

① 次の2数のうち、大きい数はどちらですか。

また、絶対値が大きい数はどちらですか。

① -4 と 3

大きい数…

絶対値が大きい数…

② -5 と -2

大きい数…

絶対値が大きい数…

② 次の□に不等号を書き入れて、2数の大小を表しなさい。

① 4 □ 5

② -3 □ -7

③ -1.6 □ -0.6

④ $-\frac{3}{8}$ □ $-\frac{5}{8}$

3つの数の大小も、不等号を使って表すことができます。

例えば、 -4 , 2 , -2 の大小は、

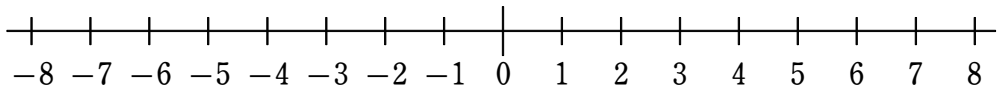
_____と表す。

③ 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

① -6 , -9

② 0 , -1 , -5

④ 次の数直線を使って、次の数を求めなさい。



① -5 より 3 大きい数

② -3 より 5 大きい数

③ 3 より 6 小さい数

④ -1 より 4 小さい数

⑤ 1 より -4 大きい数

⑥ -1 より -3 大きい数

⑦ 2 より -3 小さい数

⑧ -4 より -8 小さい数

数学の課題について

- 教科書のP.12～P.22を参考がんばってチャレンジしてみよう！
- プリントを終えたら、練習で問題を解く場合は P.12～P.22の問○や練習問題を解いてみよう！
- 授業が始まったときに困らないように、がんばって取り組んでくださいね。